

2019年度から

植栽基盤診断士補研修会～認定試験の

実施方法を見直します

受験者・受講者の便宜を図り、効率的な開催ができるように見直します。

「植栽基盤診断士認定試験」・・・実地試験の実施方法見直し、会場数増加により、受験者の時間的・経費的負担が軽減

「植栽基盤診断士補研修会」・・・実技研修の充実を図り、有資格者に求める調査診断・改善処方能力をさらに担保

※受講資格や受験資格の変更はございません。

赤字:見直した内容

実技研修の充実

植栽基盤診断士補研修会

現行

(学科研修) 380分
(実技研修) 300分
各診断項目 60分
① 土性・土色判定 ② 土壌断面調査 ③ 土壌硬度判定
④ 透水性判定 ⑤ 化学性判定 (pH・EC)
(修了試験) 60分

見直し後

(学科研修) 290分
(実技研修) 400分
土壌診断項目①⑤ 50分、②③④ 100分
① 土性・土色判定 ② 土壌断面調査 ③ 土壌硬度判定
④ 透水性判定 ⑤ 化学性判定 (pH・EC)
※調査機器の取扱習得の確認を充実
(修了試験) 60分

植栽基盤診断士認定試験

学科試験

現行

出題形式:4者択一式20問
+ 計算を伴う記述式1問
試験時間:120分

見直し後

出題形式:4者択一式20問
+ 計算を伴う記述式1問
試験時間:150分
試験①4者択一式20問 60分
(休憩10分)
試験②計算を伴う記述式1問 90分

実技試験 → 実地試験 ※名称の変更

屋内での
面接のみに変更

現行

実技と口頭試問
[1]土壌診断の5項目の実技と口頭試問
[2] 10分/項目/4人グループ
面接
[1]試験官2人が受験者1人に対し15分
[2]受験申込書、技術レポート、
実技結果の内容による面接

見直し後

口頭試問
[1]土壌診断の5項目と総合の口頭試問
実地①:土壌断面、土性・土色、化学性 (10分)
実地②:土壌硬度、透水性 (10分)
実地③:総合(受験申込書、技術レポート、
実地①②の結果)をもとに面接 (20分)
[2] 40分/人